

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表:平成30年12月23日

事業所名 児童デイサービスからふる六反

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	保護者様の要望に答えつつも、定員を意識して受け入れを行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	イベント時には、加算以上の人員配置を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4		事業所に手すりが無い。バリアフリー化の為にも、構造改革を検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	6		社員スタッフから重点的に、さまざまな研修を行い改善をすすめている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	4	引継ぎ資料の作成を、毎日行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	SNSを用いて発信を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	自事業所以外の者が、業務の確認を行うシステムを取り入れている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	月に1回、外部講師を招いたりして研修会を行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	2	半年に一度家庭訪問を実施している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	5		チームで行っているが、個別で立案を行う事があるので、チームとしてさらなる連携強化をはかっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	4	週のプログラムごとにチームを作成し、プログラム立案を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2		毎朝ミーティングを行い、役割分担を確認させるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4		送迎の時間の兼ね合いで、振り返りの共有がその日中に行われていないことがある。引継ぎノートを使用し、共有と確認を徹底する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	4		引継ぎ書類のフォーマットの変更と、記録の重要性を研修で学び、改善している最中。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	2			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	3			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	4		現状、情報共有をする体制が確立されていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		現状、全ての関係機関と連携が取れている訳ではない。関係機関に、こちらからの発信を増やしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5		現状、全ての関係機関と連携が取れている訳ではない。関係機関に、こちらからの発信を増やしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	6		参加しているが、事業所単位で情報共有の薄い部分があったので、引継ぎ時に共有・伝達を丁寧に行う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	保護者様と顔を合わせて話す機会を、意識的に多く設けている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6		スタッフの1人ひとりのスキルアップが課題となっている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2	契約時にリストを用いて説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	4		ネットツールを用いて、細かく連携をとる形を作っていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	3	年3回保護者会をひらいている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	月に1回会報を郵送している。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	SMS上に個人名や写真と使用しない等、徹底した情報管理を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	3		大型イベント時には、外部施設を借り、参加を募ったり地域に向けて発信をしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	3	マニュアルの微細な変更点もその都度スタッフへ周知している。	保護者への周知が薄かった。事業所からの発信を増やしていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	毎月避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	定期的に虐待研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4		対象者がいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1		